

避難生活について

災害時に避難所では多くの人たちが集まります。避難所の運営は行政機関だけでなく、地域の皆さんの協力が不可欠です。避難所生活をするためには、決められたルールを守り、互いに助け合って良好な環境を保つようにしましょう。

●避難所の運営について

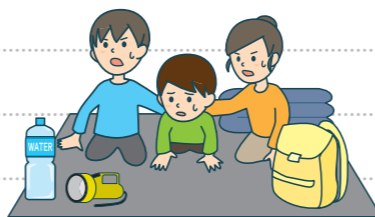
避難所の運営は自主運営が基本です。避難所へ避難したら、あなたも避難所を運営するスタッフの一人です。年齢・性別・国籍など関係なく、可能な限り役割分担を行い、より多くの人々が避難所の運営に参画できるよう、交替や当番制にして運営するようにしましょう。



●避難所内のルール

避難所では、限られた空間の中で、大勢の人たちが一緒に生活します。そのためには、避難所内でのルールを決め、周知する必要があります。

決められたルールを守り、周辺に迷惑をかけないよう配慮することが必要です。



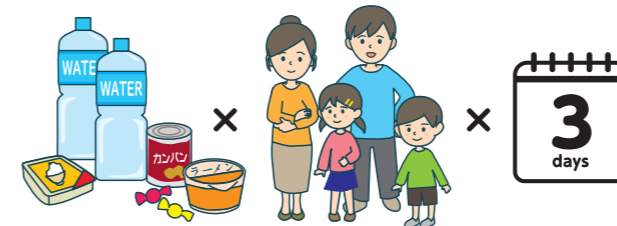
ルールの一例

- 避難所内での喫煙・飲酒は禁止
- ゴミ出しは分別し、指定された袋に入れて、決められた場所に集める
- 消灯後は話し声や携帯電話・ゲーム機の明かりや音が漏れないよう配慮する
- 避難所から別の場所へ移動する場合は、運営組織役員等に伝える
- 他人のスペースに勝手に立ち入らないなど



●在宅避難

自宅の安全が確保されており、自宅での避難生活が可能な場合は「在宅避難」も選択肢の1つになります。そのためには、最低3日、できれば7日×人数分の食糧・飲料水を備蓄しておく必要があります。



備蓄の目安

家族の人数×最低3日分

※できれば1週間分を備えましょう。

●ローリングストックとは

普段から少し多めに食材や加工品、飲料水を購入し、賞味期限の近いものから消費し、消費した分を買い足すことで常に一定の備蓄状態を保つ方法のことをいいます。



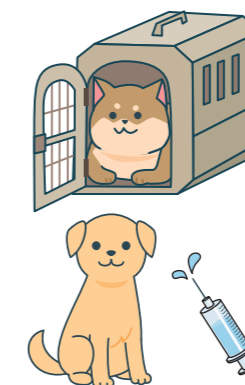
●ペットの避難

ペットを飼われている方は、避難する際、飼い主の責任のもと、ペットと一緒に避難する「同行避難」が原則となります。

避難所内は動物が苦手な人、動物アレルギーをもった人なども共同生活をするようになります。周りの人に配慮した飼育管理を行いましょう。

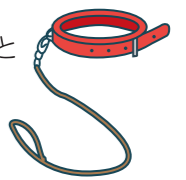
●日頃からの備え

- 予防接種や寄生虫の駆除などを徹底する
- 迷子札やマイクロチップをつけておく
- ケージなどに慣れさせておく
- むやみに吠えないようしつけておく



●ペット用の非常持ち出し品

- 療法食、薬
- ペットフード、水（少なくとも5日分程度）、食器
- ケージなど
- 排泄物の処理用品
- 予備の首輪やリード（伸びないもの）



●避難生活時の注意点

- 世話やペットフードの確保などは、飼い主が責任をもって行う
- 普段以上に周りの人々への配慮を行う（特にふん尿に関するトラブルが多い）
- 飼い主同士が協力して飼育エリアの確保や清掃を行う

